

# 第四回 琉球・中国交渉史に関するシンポジウム 論文集

## 目次

第四回シンポジウムの開催に際して	中国第一歴史档案館館長	邢永福	(1)
「第四回琉球・中国交渉史に関するシンポジウム」開催にあたって	沖縄県教育委員会教育長	安室肇	(3)
乾隆時代の中琉関係について	秦国経		1
冊使斉鯤について	糸数兼治		31
清代における琉球国の謝恩と表奏文書について	朱淑媛		67
アヘン戦争前後の東アジア国際関係と琉球	真栄平房昭		89
清代の冊封使趙文楷・李鼎元の琉球での冊封活動に関する試論	鄒愛蓮・高換婷		115
新発見の清代中琉関係の満文・漢文档案史料とその価値	呉元豊		143
清代の琉球船が貿易を目的に漂流したことについての私見	俞玉儲		163

一、本論文集は、一九九七年（平成九年）十月二十八日に中国北京市（華北大酒店）において開催された「第四回琉球・中国交渉史に関するシンポジウム」の発表原稿を収録したものである。

一、本シンポジウムは一九九六年（平成八年）三月に調印された「清代の檔案マイクロフィルムの相互交換に関する中国第一歴史檔案館と日本沖繩県教育委員会との覚書」に基づいて開催されたものである。

一、本シンポジウムへの参加者は次の通りである。

イ 日本側

沖繩県から金城正篤・井上秀雄・糸数兼治・真栄平房昭（以上、歴代宝案編集委員）、富島壮英・杜みどり（以上、財団法人沖繩県文化振興会公文書館管理部史料編集室）の六名が参加した。

ロ 中国側

北京の第一歴史檔案館をはじめ、国家檔案局等からおよそ四十名が参加し、五名が発表した。

一、なお第五回のシンポジウムは、一九九九年に沖繩県で開催される。

## 第4回

# 琉球・中国交渉史に関するシンポジウム 会議次第

1997年10月28日(月) 8:30~17:30 会場:華北大酒店(北京市)

8:30~9:10 開 会 (司会:劉余才 翻訳:徐麗)  
主催者挨拶 中国第一歴史档案馆館長 邢永福  
沖縄県教育委員会教育長 安室肇

9:20~12:00 会議報告(議長:趙雄 翻訳:李向罡)

- 1、秦 国経 乾隆時代の中琉関係について
- 2、糸数兼治 冊使齊鯤について
- 3、朱 淑媛 清代における琉球国の謝恩と表奏文書について

13:30~15:10 会議報告(議長:王光越 翻訳:徐麗)

- 4、真栄平房昭 アヘン戦争前後の東アジア国際関係と琉球
- 5、鄒愛蓮・高換婷 清代の冊封使趙文楷・李鼎元の琉球での冊封活動に関する試論

15:30~17:30 会議報告及び総括(議長:屈六生 翻訳:李向罡)

- 6、呉 元豊 新発見の清代中琉関係の満文・漢文档案史料とその価値
- 7、兪 玉儲 清代の琉球船が貿易を目的に漂流したことについての私見

会議総括 鄒 愛蓮